

広報

No. 151

Ka+

昭和61年1月15日

発行・編集 国見町企画課

お
も
な
内
容

年頭にあたって（町長）	2
渡部助役が退任	3
ふるさとの文化財	5
おしらせ	6～7
公民館だより	8～9
わだい	10

謹賀新年

'86

1月

外の雪景色とはうって変わり、温室の中は、
春らんまん。

プリムラオブヨニカ、シネラリアなどが、
花を咲き競っています。（泉田中、犬内一郎さん宅で）

春 頭

年頭にあたって



思いやりのある

町づくり

国見町長

菊地 政治

昭和六十一年の輝かしい新春を迎え、謹んでお喜び申し上げます。

私は新しい年の門出にあたり、皆様方のご多幸を心からお祈り申し上げるとともに、旧年中の町政各般にわたる温かいご支援ご協力に対し、慎んで感謝申し上げます。

昨年も依然として地方財政を取りまく状況は厳しく、なかでも念願の県北中学校校舎改築工事に着手し、只今建築も順調に進捗しております。この八月には完成し、充実した教育環境に資するものと確信を深めております。

また、町民の方々の健康の増進並びに体育の向上にテニスコート四面、二十五メートルプール及び幼児用プールの築造完成をみましたが、これ一重に関係各位のご協力と感謝申し上げます。

なお、厳しい財政のなかで絶大なるご協力を頂いている方々に対し、衷心より敬意を表します。

本年は町の指針となるべき第二次町勢振興計画を策定し、二十一世紀に向けての第一歩を踏みだす年でもあり、活力に満ちた町づくりをめざして努力して参る所存であります。

特に、当面の最大課題は、町財政の健全化であります。国、地方を通じて行財政改革並びに臨教審による改革の推進であります。さらに過般六十一年度予算の政府案が決定しましたが、その概要は想像以上に極め度厳しい内容となっております。従いまして現時点では、明るい未来を築くためにも地方財政の健全化が重要な施策であると存じます。

一方、流域下水道浄化センター事業で、用地補償が昭和五十九年、六十年度に亘り七二%の買収が行われました。残り二八%が六十一年度の予定でありましたが、地権者の方々の當農対策を始め生活設計に大きな支障があるところから、建設省関係機関に対し県並びに関係市町の首長が陳情を行った次第であります。幸い地元国会議員のお力添えを頂き、十億四千万円の用地国債措置を講じた旨の知らせがありました。このような状況から今後はこの事業が本格化することとなります。

さらに、この浄化センター建設事業に伴って、当然対応しなければならぬ上水道水源池の補償問題をはじめ、周辺対策事業の促進は、県並びに促進協議会等関係機関のご協力をいただきながら、尚一層積極的の努力して参ります。

また、当該事業とも関連し、人口増加をはかるうえから就労の場を確保しなければなりません。それには企業誘致に全力を挙げ活性化を図る存念であります。

つぎに、おもいやり施策について、次代を担う青少年の健全育成の推進、弱者側にある児童、母子及び心身障害者福祉の堅持、増大する高齢化社会の福祉対策等に努力するとともに積極的におもいやりの輪を推進して参りたいと存じます。

最後に私は、町民の立場に立った町政をすすめるために全力を傾注する覚悟でありますので、どうぞ町民皆様方の変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。併せて皆様方の御健康を心からお祈りいたしまして年頭のごあいさつといたします。

渡部助役が退任

特老あつかし荘
所長に就任



昭和五十七年四月六日から町助役として活躍されてきた渡部直人さんが、十二月三十一日付で退任されました。

渡部さんは、昭和二十五年以来の行政事務経験を経て、助役として町長補佐の立場から町政にたずさわってまいりましたが、この四月にオープン予定の特別養護老人ホームの所長に就任するため、任期中途での退任となりました。

特別養護老人ホームは、「あつかし荘」という名称で、公立藤田総合病院の南側に建設中で、福島市と伊達九町でつくる福島地方広域市町村圏組合の事業として昨年夏に着工しました。

なお、町では、助役、収入役、教育長が三月末まで空席になりますが、町長はじめ職員一同協力して町政執行していきますので、町民の皆さんのご協力をお願いいたします。

若人の翼に参加して ①

韓国・マレーシアコース

班長 佐藤 裕

はじめに

私は、青年が社会開発運動に積極的に参加をして、地域の発展に寄与する行動を起こすように呼びかけた国際青年年を記念して、福島県青年海外派遣事業「若人の翼」に応募いたしました。訪問地にて感じた事や考えた事などについて報告いたします。

急成長を遂げる韓国と

セマウル運動

ソウル市内までのバスの中で先ず驚くことは、道路が非常に広く作られていることです。この幅広い道路は、有事の際には臨時の軍用滑走路となる説明を聞き、韓国の軍事体制の一端を見ることができたわけですが、韓国の第一印象は、多少暗く、固苦しいものになりました。

ソウル市内は、三年後のオリンピックに向けて、かつての東京がそうであったように、高層ビルや地下鉄の建設、そして道路の整備と、経済的な活気が感じられます。古来の瓦屋根の家屋は取り壊され、新しい近代的なアパート群を形成していくその様子は、実質経済成長率東洋一の国を裏づけるものがあります。

今、韓国では、セマウル運動

（新しい村づくり運動）が盛んです。「勤勉」「自助」「協同」をスローガンに、蓄産の振興、農業用水の整備、集会所の建設、幼児教育、一般家庭の栄養改善など、幅広い事業を行い成果を挙げています。

このセマウル運動に代表されるように、韓国では全国民が一人丸となって国づくりに励んでいるわけですが、これが急成長を遂げる韓国の大きな原動力になっていることは言うまでもありません。

回教の国マレーシアで

ホームステイ

マレーシアにある国立回教寺院を見学した時、私は宗教に単に儀式的でない他の何か（例えば、学生とか生活というような）を感じました。マレーシア国民が回教を信仰して、人生観、世界観などを構築している以上、我々慣習としての宗教しか持たない（少なくとも私は）日本人が、そういうマレーシア人と交流を持ち、相互理解を深めるためには、先ず宗教についての認識を持つ必要性があると感じました。

ベナン島という小さな島のタローク・バハムという村でホームステイをしました。昼は、島巡りをしましたが、澄んだ空と

青い海、時に海外研修の目的を忘れしてしまう程の美しさでした。夜は歓迎パーティーが開かれ、地元の国会議員や郡長も出席され、会場は見物客でごったがえし、整理の警察官まで現われまして。あの熱狂的な歓迎がマレーシア人の心情的なのだと思います。

おわりに

日本を出発する前に、東南アジアにおける反日感情について懸念されましたが、それ以上に日本に対する経済的、文化的な期待感があるように感じました。我々日本の青年は、その期待に応えられるように、もっとアジアを見つめ直して、アジアの先進国として、リーダーシップを取ろうとする積極的な行動を起こす必要があると思います。



▲ベナン島で現地の人と（右端が佐藤さん）

ご協力ありがとうございます

ございました

赤い羽根共同募金

歳末たすけあい募金

ともに目標額達成

百十六万四千四百円

実績額

百二十五万九千八百六十一円

達成率 一〇八・二%

☆共同募金運動期間中

次の方々から寄付を

いただきました

*赤い羽根共同募金

町民の皆さんから

百七万三千九百九十円

国見町役場職員の皆さんから

二万四千九百九十円

*歳末たすけあい募金

町民の皆さんから

百十七万三千九百五十円

藤田小学校児童会の皆さんから

三万五千三百三十三円

大木戸小学校児童会の皆さん

から

一万三千二百七十九円

石母田 佐藤マサイさんから

千円

第九 村上ハツヨさんから

千円

目標額

◎歳末たすけあい募金

実績額

百九万四千四百九円

達成率 一〇一・五%

◎赤い羽根共同募金

目標額

百七万七千六百八十円

実績額

百九万四千四百九円

達成率 一〇一・五%

大町南 泰三郎さんから

二千三百三十四円

匿名希望のGさんから

二千円

国見町職員クラブ、職員労働

組合の皆さんから

三万四千七百二十円

☆歳末たすけあい募金

配分内訳

在宅

生活困窮世帯 六十世帯

ねたきり老人 五十一人

ひとり暮らし老人三十七人

重度障害者 六十五人

施設

老人福祉施設

六施設 二十四人

精薄児者施設

六施設 十三人

肢体不自由児施設

二施設 二人

盲ろうあ児施設

一施設 一人

救護施設

一施設 一人

長期入院者

十病院 四十五人

歳末たすけあい募金に寄せら

れました皆様の善意を以上の方

々に見舞金として配分いたしま

した。

身近にある野草薬草

19

フユノハナワラビ



東北地方より以南、四国、九州に自生する多年草。日当たりのよい平野の山林や原野の草地に生えます。

草丈は五〜三十cmとまちまち。栄養葉である通常の葉は、質がやわらかで、長い柄があり、その柄の先端に三枚の葉がでます。葉は三〜四回羽状に深く裂け、裂片には浅い鋸葉があります。

葉は六〜七月のあたにかいうち

に休眠して枯れ、涼しくなると地下の根茎より新葉を伸ばし、さらに緑の胞子葉を出します。胞子葉は、九〜十月ごろに熟すと黄褐色になって、黄色の胞子を粉のように放出します。名前の由来は、原野で他の草が枯れている冬でも、この草の葉はまだ緑色を保っていてよく目立ちます。この胞子葉を花と

見立て、シグの一種なのでフユノハナワラビの名がつけました。また、ハナワラビ、フユワラビ、カンワラビなどの方言があります。漢名を「陰地蕨」といいます。

▼食用 ▲ フラビやゼンマイのように群生していませんが、ときに多く生えたのに出会ったら、上の葉と葉柄をつみとります。料理 ゆでてアク抜きし、おひたしや各種のあえ物に利用します。

(山野草カラー百科から)

ふるさとの文化財

22

史跡 伊達成宗墓

菊池利雄

小坂宿町の西裏寺^{せうりじ}家に、伊達兵部少輔成宗^{なりむね}の墓^{はか}地がある。伊達成宗は伊達持宗の子息。伊達氏十二代の当主で梁川城に住した。生没年ともに詳かでないが、明応九年(一五〇〇)以降の九月二十五日、五十三歳あるいは四十八歳で卒したとある。寛正三年(一四六二)九月に上洛し、將軍足利義成^{あしきよなり}と改むり諱字^{なづな}を賜^{たま}わり成宗と称し、大膳大夫に補任された。

文明十一年(一四八三)十月十日、成宗は家臣の牧野・中野大枝・藤田氏などを従い、馬數百匹をひいて再度上洛して、前將軍足利義政、夫人日野富子、將軍足利義尚をはじめとし、細川・畠山・伊勢氏や北野天神社



など、幕府要人や諸社寺などへの挨拶や参詣にあたり、駿馬九十五匹、太刀二十八振、砂金三百八十兩、銭六萬疋など、膨大な進物に都の人々を驚かしたと「実隆公記」(三條西実隆の日記)や「成宗公御上洛之日記」(伊達にみえ一ヶ月余におよんだ成宗の滞京は、かつて奥羽の地に君臨した落日の大崎探題家^{さきたんてい}に変わって、奥州探題もしくは守護職補任についての、幕府要路に対するはたらきかけにあったとみられる。晩年の成宗は家督を子息の伊達尚宗に譲り、伊達郡西根松ヶ蔵(現宮町小坂字)の地に小屋館(小坂字)を構えて隠居した。

成宗の没後は小屋館北側の窪地に葬られ、永正(一五〇四)一五二〇年間この地に伊達尚宗は父親の菩提寺として五峯山

松音寺を建立している。伊具郡丸森を経て、現在は仙台の新寺小路に移されている。墓地は元禄頃墓守佐藤七郎兵衛家によって寺家堤右側の高所にある現在地に移されている。(文庫)

明治四十四年(一九一)五月、末孫である伯爵伊達宗基はこの墓地に「従四位上伊達兵部少輔成宗墓」と刻した墓石を建立している。神式によっているので法名の記載はないが、「栖霞院殿瓊岩円玖大居士」が成宗の謚号である。墓地の裏手に鎮座する蚕種八幡は、成宗の小屋館在任時に氏神の亀岡八幡宮を勧請したものであろう。

参考文献 「国見町史」(梁川町史) 二信達二郡村誌」

歳時記

つらら

つらら——もしかしらら、つららと言わずに、つらりとつらら、つられなどと言う方がいるかも知れません。何だか、舌がもつれそうな話になりましたが、つららというは、二存じのように、寒い時に軒先や、岩のてっぺりなどに下がる氷の棒です。つららは地方によってさまざまな呼び方があり、さきにあげた言い方のほかに、つらろ、ちろろなどもあるそうです。

そして、語源についても、「滑滑」すなわち、なめらかなということだが、「連ら」または「列ら」の意味だとか色々あります。古くはつららと言わずに「垂氷(たるひ)」と言ったようです。

ところで、つららの下がる光景というは、北国を思い浮かべますが、二月七日は「北方領土の日」です。一八五五年(安政元年)のこの日に、日露通好条約(下田条約)が

締結されました。この条約で択捉島から南の島々を日本領と決めました。その後、一八四五年(昭和二十年)八月九日、当時まだ有効だった「日ソ中立条約」をソ連が一方的に破って、対日参戦し、九月三日(日ソ北方領土(択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島)を占領しました。

北方領土の返還運動はその後ずっと続けられてきました。日ソ両国の永遠の友好をという願いをこめて、昭和五十六年に「北方領土の日」が定められました。

北方領土は、日本固有の領土です。国をあげての世論を盛り上げ、返還を実現しましょう。





藤田保育所の
入所児童募集



藤田保育所では、昭和六十一年度の新入児童を次のとおり募集いたします。

○受付期間

一月二十八日(火)～一月三十一日(金) 九時～十六時

○受付場所

国見町役場

○対象年齢

0歳～未就学児

○募集定員

一〇〇名

○持参していただくもの

印鑑・昭和六十年分の源泉徴収票

※詳しいことは藤田保育所(八五―一三七四)か役場住民課福祉係(八五―二二―一内線四二)へおたずねください。

福島県の最低賃金が
改定されました



福島県の最低賃金は、昭和六十年十月十日から左記のように改定されました。

この最低賃金は、福島県内のすべての業種に使用される労働者に適用されますので、使用者は労働者に対して、この最低賃金額以上の賃金を支払わなければなりません。(最低賃金法第五条)

記

最低賃金	除外賃金
福島県 一日三、一九二円	精舎勤当
最低(二時間)	通勤手当
賃金(四〇〇円)	家族手当

※最低賃金についての照会、ご相談は左記へご連絡ください。
○福島労働基準局賃金課
☎三三―一―一一(内線五四―一―四)

届出は済みましたか?

サラリーマンの奥さん

届出期限は今月末です

現在国民年金に任意加入している厚生年金加入の奥さんは、

引き続き国民年金に加入していただくために、「国民年金任意加入被保険者現況届」を役場住民課に届出ることが必要です。

この届出をしますと、昭和六十一年四月からは、新しい国民年金制度の「第三号被保険者」となり、保険料を個別に納めなくても、基礎年金がうけられることとなります。

届出は①ご主人の会社で、「被扶養配偶者」の確認を受け、会社から郵送してもらう。②役場に直接出向き、ご主人の厚生年金手帳、健康保険被保険者証を提示して確認を受ける——となっております。

期日までに「現況届」が提出されないと、納付書が引き続き発行されたり、年金がうけられなくなる事もあります。必ず提出しましょう。

(第3号被保険者)

夫の厚生年金制度からまともに出る市町村に届出をすれば、保険料を納めなくてよい。



夫が厚生年金加入、妻は家事に専念

みんなで守ろう
文化財



文化財防火デー

1月26日

アンペアブレーカーがたびたび切れて
お困りではありませんか?

現在ご契約のアンペアを変更されたいときは、最寄りの東北電力にお申し込みください。ブレーカーやメーター器を無料で取り替え、ご契約を変更させていただきます。ただし、契約アンペアが大きくなりメーター器付近などの配線を太くする必要の生じた場合は、電気工事費のかかることもありますのでご了承ください。



契約アンペア	基本料金(円)
5 A	280 (最低料金)
10 A	300
15 A	450
20 A	600
30 A	900
40 A	1,200
50 A	1,500
60 A	1,800

東北電力株式会社福島営業所

桑折出張所 ☎969-16 福島県伊達郡桑折町字本町57-1 Ⅸ82-2033

善意の窓

町社会福祉協議会に

◆大木戸小学校から

六千八百七十二円一チャリテ
一益金

◆後藤功さん(泉田上)から

三万円一故長之助さんのご遺
志

◆国見町商工会青年部から

三万八千二百六十五円一映画、
夕市益金

◆佐久間勝雄さん(宮町北)から

二万円

◆明るい社会づくり運動福島県
協議会福島支部支部長八巻一
夫さんから

十万円一チャリテ一益金

◆須田善治さん(町東)から

五万円一故兼造さんのご遺志

県北中学校に

◆後藤功さん(泉田上)から

三万円一故長之助さんのご遺
志

◆山崎明さん(大町南)から

花壇、園芸用標識立札二十組

小坂小学校に

◆後藤功さん(泉田上)から

児童図書(三万円相当)一故
長之助さんのご遺志

◆山崎明さん(大町南)から

花壇、園芸用標識立札二十組

大木戸小学校に

◆山崎明さん(大町南)から

花壇、園芸用標識立札二十八
組

藤田小学校に

戸籍の窓口

(12月受付分)

出生おめでとうございます

子の名	保護者	部	落
あゆみ	近野 高次	第三母田	西七南一中
真喜栄(まきえ)	佐藤 純	石宮第	町十田
美(み)	奥山 昭男	第泉	北北四二北三
賀(か)	寺島 正樹	高橋	江
実(み)	高橋	守	山徳第第第源宗北
美由美	帆(ほ)	浅野	江
和	哉(か)	斎藤	江
竜	也(た)	清光	江
裕	一郎(いちろう)	裕寛	江
亮	彦(たかひこ)	佐藤	山
直	美(なみ)	八巻	北
悠	太(た)	吾妻	三
涉	太(た)	八巻	北

ご結婚おめでとうございます

氏名	部	落
藤 弘	前小	田田坂町
佐原 長	前小	島山
長谷川 菊	前小	島山
菊 仲	前小	島山

おくやみ申し上げます

氏名	年齢	部	落
鈴木 直	88	川内	内東一田上田東北
木坂 直	89	谷	田
間 直	75	第	田
川 直	85	泉	前
藤 直	85	石	母田北
佐藤 直	85	石	母田北
佐藤 直	84	石	母田北
市 直	84	石	母田北
市 直	48	石	母田北

人口と世帯

1月1日現在(前月比)		12月中のうごき		60年中のうごき	
人	男 5,808人 (+7)	転入	24人	転入	280人
	女 6,229人 (+6)	転出	17人	転出	294人
口	計12,037人 (+13)	出生	14人	出生	128人
世帯数	2,876戸 (+3)	死亡	8人	死亡	98人

心配ごと相談日

場所：役場二階相談室 (東側入口からお入り下さい)
時間：9時～12時
こまったことや、相談ごとがありましたら、
お気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。

〔相談員〕

- 1月25日(土) 鈴木 正雄・柴瀬 貞子
- 2月5日(水) 遠藤 喜市・佐藤マサイ
- 2月15日(土) 菅野 賛郎・高橋 恵子



1月 睦月(むつき) 2月 如月(きさらぎ)

16日(木) やぶ入り 3日(月) 節分

20日(月) 大寒 4日(火) 立春

26日(日) 満月 8日(土) 針供養

文化財防火デー 11日(火) 建国記念の日

27日(月) 国旗制定記念日 14日(金) 聖バレンタインデー

公民館だより

国見町公民館

☎85-2676

(有) 4156

手づくりたこで

たこ揚げ大会

たこ揚げ大会が一月十二日、山崎運動広場で町内の小学四年生から六年生までの四十名が参加して開かれ、自作のたこを大空高く揚げました。

手づくりのたこは十二月二十一日行われた「たこ作り大会」で作ったものに、冬休みの間に



▲みんな熱心なたこづくりに挑戦 (%)

思い思いの絵を書いたものです。最初に「たこ絵の展覧会」。今年のえとの寅やマンガなど描いた絵を見せ合い、みんなが一番上手な絵を選びました。

続いてだれが一番高く揚がるか競いました。すぐ落ちたり、木にひっかかったりと悪戦苦闘



▲なかなかうまくかけてますね

の末、決勝に残ったたこはさすがに優劣がつけがたく、全員優勝。大会を主催した「サークルぼけつと」のお兄さんたちが用意した甘酒や焼きイモを食べたり、たこ揚げをしたりと楽しい一日を過ごしました。



▲大型たこも登場!! (残念ながら少ししかあがらず)

奇贈

◇図書

- 塚野目 佐久間直次さんから 天皇物語 一冊
- 福島市 梅宮茂さんから 信夫の里礼所めぐり 一冊
- 柏木(ひょうしき) 徳江 佐野一子さんから 柏木(ひょうしき) 一冊

ありがとうございます。

木曜会に感謝状

このほど、「国見の民話」発刊によせて、長期にわたり活躍されてきた木曜会(内池和子代表)に町教育委員会から感謝状が贈られました。

木曜会は、埋もれた地方民話を掘り起こし後世に伝承しようとして、昭和五十五年から国見町の民話採集を行って、地道な活動を積み重ねられ発刊に多大なご協力いただきました。本当にありがとうございます。

た。

「国見の民話」ボランティアサークル(仮称)発足について

昨年の十一月木曜会の手で採集した国見の民話が発版されたところでありますが、昨年の春日本民話の会の探訪により収集された民話は六百七十七話、六十分テープで五十九本と我が国見町の昔ばなしの伝承の層の厚さにおどろかされたとのこと。

今後テープに取められた貴重な素晴らしい民話を原稿に起こす(聞き書き)作業があり、その

仕事を終わらないと素朴な美しい方言の民話が生れない訳であ



▲佐藤教育次長から内池和子さんへ

ります。

そういう意味におきまして、どうぞ趣旨をご理解くださいまして一人でも多くのおみなさんのご協力を賜りますようお願いいたします。

なお第一回の発足の打合せを左記により行ないますので、みなさんお誘い合せのうえ、ご出席くださるようお願いいたします。

日時 二月三日午後一時三十分
場所 国見町公民館

第四回 郡内一周駅伝競走

斎藤佳代子さん 女子区間賞

伊達地方体育協会、伊達地方教育委員会主催による第四回郡内一周駅伝競走大会がある。さる十二月八日飯野町役場前九時スタートで保原町中央公民館までの十二区間、五十六キロメートルで行なわれました。

国見チームは昨年十一月十日町内一周駅伝競走大会で優勝した源宗山チームを主体に各地区から選抜された選手(一区青木功 二区阿部博 三区佐藤武徳 四区斎藤佳代子 五区岩城勉 六区中野一雄 七区星野勝幸 八区鈴木孝雄 九区斎藤洋二 十区高村義孝 十一区斎藤松男 十二区黒田武の各選手)で編成、町代表チームとして大いに健闘し、四区の女子区間で斎藤佳代子さんが区間新記録で走り、総合時間三時間二十四分九秒でした。選手の方々小雨の中大変ご苦労様でした。

大会結果は次のとおりです。

- 五位 伊達走友会 3時間17分57秒
- 六位 梁川町B 3時間24分2秒
- 七位 国見町 3時間24分9秒
- 八位 月館町 3時間24分28秒
- 九位 飯野町 3時間26分14秒
- 十位 桑折町 3時間28分24秒

町民学校、講座の

おしらせ

◆家庭電気教室

○期日 一月三十一日、二月七日、十四日、二十一日、二十八日、計五回

○時間 午後一時三十分から

○場所 国見町公民館

◆講師

東北電力福島営業所専門職員 門職員

◆家庭看護教室

○期日 二月五日、二十六日

○時間 午後一時三十分から

○場所 国見町公民館

◆講師

日本赤十字社福島県支部指導員

◆公民館スキー教室

○期日 二月十六日(日)

○時間 午前六時

○場所 天元台スキー場

○参加料 大人三千円(中学生以上) 小人二千円

○定員 五十名

申し込み及び問い合わせ 町公民館(八五二二六七六)

○締め切り 二月十日(月)

※定員になり次第締め切りしますのでお早めどうぞ!!

新年あけまして おめでとうございます

昭和61年 元旦

国見町公民館職員一同

室内ゲートボール

マット購入記念

大会で徳北優勝

冬期間でもできる室内用ゲートボール用マットが、社会福祉増進に寄与するため購入いたしました。

愛好者の方たちは早速練習をし、これを記念した大会が国見町GB協会主催により十二月十六日・二十日の二日間にわたって体育館で行なわれました。成績は次の通りです。

- 優勝 徳江北部
- 準優勝 山崎長寿会
- 第三位 阿津賀志第二
- 第二藤田



▲のびのびと室内でプレーするみなさん

新刊書案内

オロロンの呪縛 西村 寿行
東條英機(上・下) 吉松 安弘
あまからびん 佐々木久子
きらめく星 井上ひさし
人類法廷 西村 寿行
子どもの隣り 灰谷健次郎
男と女の交差点 神津カンナ

「青春祭」

「おれたちの祭り」のお知らせ

青年学級では、一年間の活動の総まとめとして、恒例になりました「青春祭」を開催いたします。

町民のみなさん、お誘い合せの上、ご来場ください。

◇ ○とき 二月二十三日(日) 午後一時間演

◇ ○ところ 町公民館

◇ ○会費 三〇〇円 (当日三五〇円)

◇ ○内容 学級生による劇・コント・生バンドなど



▲昨年の「青春祭」から



火災予防は

自らの手で

防火講習会開かれる

火災の多発しやすいう年末年始を控え、町消防団(樋口弥太郎団長)と町婦人消防協会(野村チヨノ会長)の共催で、去る十二月六日、町公民館老人子供室で、常に火気を扱う家庭の主婦を対象に、防火講習会と映画会が開催されました。

講師として招かれた、伊達地方消防組合消防長の遠藤賢治氏は、最近の火災原因の傾向、火災になった時の対応などについて約一時間にわたり熱心に講演されました。

引き続き、ガスの危険を防ぐには「という映画が上映され、約六十名の出席者は、真剣に見入っていました。

最近、たき火による火災が多発しているということです。火の取り扱いには慎重に行い、

国見町から火災は絶対に出さないように皆さん方の特段のご協力をお願いいたします。



▲熱心に講話を聴く婦人のみなさん

国見映友会に

感謝状

文化財ビデオ製作に対して、十二月二十三日、町教育委員会は町文化団体の「映友会」に感謝状と記念品を贈りました。

これは、昨年九月に完成した教育委員会委託事業「国見町の文化財」ビデオ製作の同会の功績に対して贈られたものです。

ほぼ一年間かけて製作された作品は、現在公民館の歴史教室や各小中学校の教材として活用されています。

内谷出身で現在アメリカシカゴ市在住の赤坂信雄さんは、里帰りした実家でこのビデオをみて、「故郷の歴史を知るのに大変素晴らしい作品だ。ぜひ持ち帰り日本人の仲間にも、アメリカの友人にもみせたい」といっています。



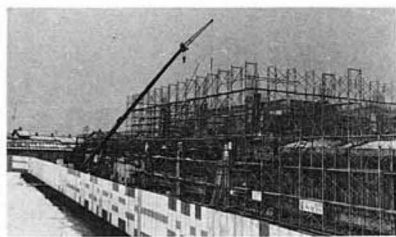
▲佐藤教育次長から新村会長へ感謝状が手渡される

県北中学校

工事が進むと進む

老朽化が進み、危険校舎に指定されていた県北中学校の改築工事は、昨年七月二十日の着工以来、着々と工事が進行しています。

新校舎は、鉄筋コンクリート



▲着々と工事の進む県北中学校

三階建て、約五千平方メートル、普通教室十五、特別教室十、多目的ホールなどが設置され、工費は七億四千六百万円となっています。

今年は、例年になく雪が少ないこともあり、工事関係者の方でも早朝から夜遅くまで仕事をしています。工事は予定どおり、順調に進み、現在は二階までの骨組みが出来上がっています。

今年八月には新校舎が完成の予定で昭和二十五年に建てられた現在の校舎は体育館、講堂を除いて姿を消すことになり、新校舎が完成すれば、快適な環境のもとで、生徒たちは健やかに勉学にいそむことが出来ることでしょう。

編集日記

○今年には例年になく雪が少なくおだやかな新年を迎えることができました。今年一年、町民の皆さんにとって良い年でありますように祈っております。

○ところで、今年には寅(とら)の年。昨年には阪神タイガースの優勝で、一足早いトラファイバーで沸きましたが、今年も阪神がトラファイバーを起すか、それとも巨人や広島などの球団が巻きかえすか、興味のあるところ。もちろん、バリーグフアンの方もいるかと思ひます。西武が連覇するか、他の球団が優勝するか、こちらも興味のあるところ。

○昨年暮れに大流行した悪性のかぜが、年明けと同時に再流行のきざしがあるそうです。かぜをひかないよう十分注意することとはもちろんですが、スキーやスケート、バレーボールなどで体力づくりをするのもいいことだと思ひますので、思いっきり運動して寒さをふきかしていただきたいものです。

○最後になりましたが、今年も広報「くのみ」をよろしくお願ひするのと同時に、町民の皆さんのご意見、要望などお寄せいただきたいと思います。